



自由民主党 小高 浩行 6
安心・安全な学校への対策

問不審者から児童生徒を守り、安心・安全な学校にしていくために、今後どのような対策が必要か、教育委員会の見解を問う。

答学校教育部長 学校・家庭・地域全体で、児童生徒の登下校の見守り活動を実施する必要があると考えており、今後は、各学校で危機管理マニュアルの定期的な見直しを図り、実践的な研修を行

い、意識を高めていくことが必要と考えている。

また、保護者や地域住民等が、学校運営に参画するコミュニケーション・スクールの導入を目指し、地

域と共にある学校運営を実現し、不審者等の危険から社会総掛かりで児童生徒を守り、安心・安全な学校を目指していききたいと考えている。
問小中学校セキュリティ



政晴会 倉嶋 真史 7
介護予防と農福連携

問介護予防・生きがいづくりとして農業の手伝いが必要であると考えるが、本市の考えを伺う。

答福祉部長 高齢者が農業に従事する動機としては、定年退職等を経て農業に関心を持ったり、介護予防を目指す人などさまざまであり、また、高齢者の健康状態、身体特性などに応じて、無理なく楽しく活動できること

が大切ではないかと考える。従って、これらの高齢者側の目的意識や身体特性などを踏まえた上で、

農業者側のニーズが合致すれば、介護予防や生きがいづくりとしての農業の手伝いは、可能になるものと考えている。

問2040年問題



無所属 小林 薫 8
給食費無償化に向けて

問4年前の市長の公約である義務教育給食費無償化に向けて、自身は直接どのように取り組んできたのか。

答市長 給食の無償化は、市の単独の財源では実現しない。国、県の財政支援が必要な事業である。いろいろな機会を捉え、さまざまな財政支援について要請してきたが、国、県に給食費の財政支

援をしてほしいという具体的な要望活動は行ってない。



問市長の政策
問給食費無償化



公明党 嶋田 弘二 9
乳幼児健康診査について

問子どもの鉄欠乏による貧血は、発達や発育に影響を及ぼす可能性があることから、乳幼児健康診査に貧血検査を導入すべきと考えるがいかがか。

答保健医療部長 厚生労働省が作成した、改訂版乳幼児健康診査身体診察マニュアルによると、医師の診察場面で、全身の皮膚色、眼瞼結膜の色調を診て、貧血が疑われる

場合には、医療機関への受診を勧めることとなっており、本市ではこのマニュアルに沿って乳幼児健康診査を実施している。

現状では、医師による診察や保護者からの質問、相談に適切に対応すること等により、子どもの貧血傾向を見逃すことなく、適切な対応を行っていきたいと考えている。

問乳幼児健康診査



自由民主党 吉野 郁恵 10
脱炭素化と事業者への支援

問2050年カーボンニュートラルに向けて事業者が地球温暖化対策に取り組むために市として何ができるか。

答環境部長 事業者が地球温暖化対策を進める上で必要と考えられる情報、例えば国の脱炭素化に向けた補助事業の情報などを市のホームページ等を通じて提供していく。また、環境に配慮した

取り組みや意義を理解する場として、講演会等の開催を検討する他、環境経営の認証・登録制度であるエコアクション21の普及促進を図っていききたい。

これらの取り組みについては、関係部署と連携を図りながら、迅速かつ丁寧に行っていきたいと考えている。
問カーボンニュートラル



政晴会 樋口 直喜 11
文化行政と文化芸術の推進

問川越のまちづくりにおいて重要な意味を持つ文化行政・文化芸術の推進に係る条例について、市制施行100周年を契機に制定する意向はないか。

答市長 文化芸術の振興に関する条例を制定することは、一定の意義があると考える。川越市文化芸術振興計画審議会の議論の中でも条例があることが望まし

いとの見もあるので、条例を制定することで、市民にどのような影響が出るのか、また、どのような効果が期待できるのか、この条例が単に宣言的なものではなく、どのように実効性を高められるのかなどについて、市民ニーズや先行事例などを十分に調査研究していきたいと考えている。

問文化行政と文化芸術